



基盤力テストの現状と 今後の展望

山形大学 基盤教育院 安田 淳一郎

2016年11月11日

2016/11/11 APキックオフシンポジウム@明治大学グローバルホール

直接評価としての基盤力テスト

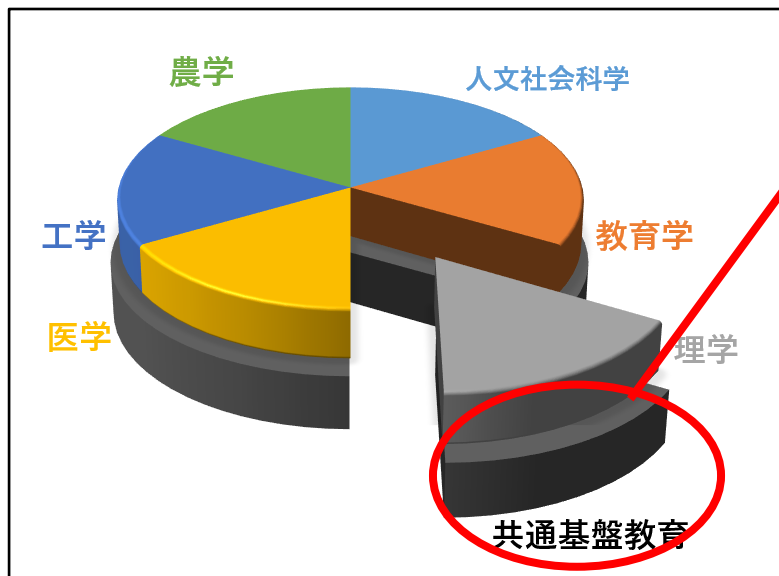
間接評価から直接評価へ

- 間接評価：学生に対するアンケート（学生実態調査、満足度調査など）



- 直接評価：CLA+、CCTSTなど（米国の場合）
、基盤力テスト

基盤力テストの構成



学問基盤力（共通基盤）は学部ごとに受験科目を選択

	現行	新規追加
学問基盤力 (学位プログラム毎)	GPA	学位プログラム標準テスト等
実践基盤力 (全学共通)	ポートフォリオ	キーコンピテンシー調査等
国際基盤力 (全学共通)	TOEIC IP	eラーニング達成度等

学問基盤力テスト（共通基盤）：開発の概要

開発体制

- 基盤力テストWG（基盤教育院の各専門分野の教員4名）

分野

- 数的文章理解、数学、物理学、化学、生物学
- 各分野で、30～45問程度を作問

開発方針

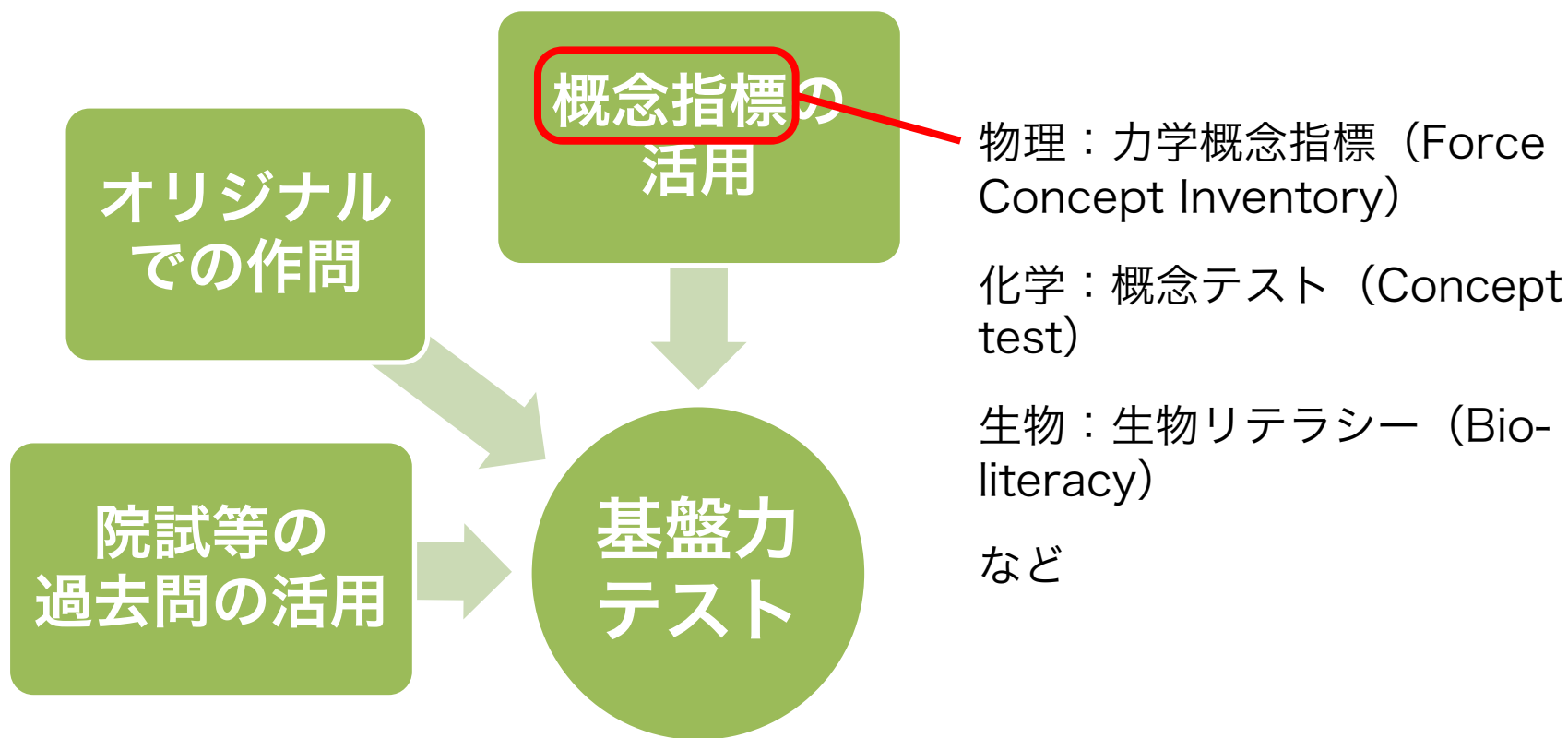
- 知識だけではなく、概念まで定着していることを測定できるテストを開発する

学問基盤力テスト（共通基盤）：スケジュール



学問基盤力テスト（共通基盤）：開発の手法

様々なリソースの活用



学問基盤力テスト（共通基盤）：設問の妥当性

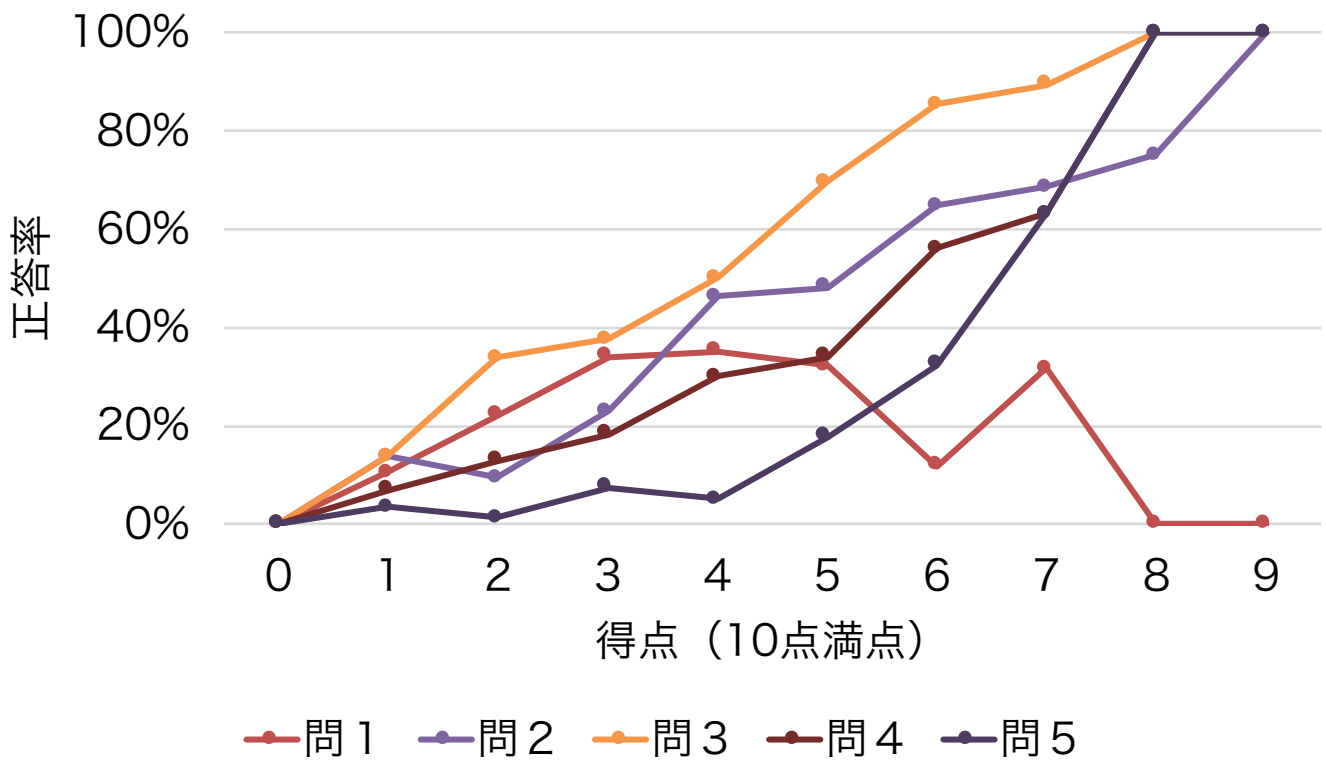
予備調査での分析手法

1. 記述式回答の挿入、事後インタビュー
2. 項目反応曲線による分析

学問基盤力テスト（共通基盤）：設問の妥当性

項目反応曲線による分析例

試作テスト（物理）についての項目反応曲線（N=469）



学問基盤力テスト（共通基盤）：実施形式

試験形式

- スマートフォン（YU Portal）を使用



出題形式

- 項目反応理論による、回答者に応じた難易度調整

学問基盤力テスト（共通基盤）：スケジュール



将来の展望

- 毎年改善をくり返しながらの完成を目指す
- FDの企画運営、カリキュラム編成への活用
- 大学間連携での実施も視野に